

TOTAL-Tが教える

HOW TO AIR BRUSH

AIR BRUSHをはじめよう! -2003- VOL.02



ひと言のコーナー
やらないとうまくならない!

お勉強のコーナー
自分に合ったAIRコンプレッサーは?
色について...
読者からの質問コーナー



実践のコーナー
空き缶にペイントART!

知ってソンしないコラム
AIR BRUSHメーカーは今...

<http://total-t.com>

はじめに・・・

夢の“AIRBRUSHのHOW TO本” VOL.02

TOTAL-T が教える HOW TO AIRBRUSH VOL.01 が出てから約一ヶ月がたとうとしています。
おかげさまで日本全国の各地からこの本の購読申込があり、整理に追われる日々をすごしています。
本の申込を受けるごとに、うれしさと同時にプレッシャーも感じているところです。
本の内容もみなさまからの声を聞きながら、徐々にレベルUPをはかっていきたいと思っています。
私と一緒に AIRBRUSH を学ぶ本、考える本、楽しむ本として、毎月月末に発行する手作りの本としてみなさんと一緒に成長していきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願い致します。



TOTAL-T 竹島 敏也

Toshi

感謝・・・

最初から私のことを信用していただいて、まとめて購読申し込みをしてくださった方、Vol.01 を購読してみて良かったから二冊目の購読をされる方、この本を見て道具を注文してくれた方など、皆様には感謝の気持ちでいっぱいです！
皆様の期待にそえられるように今後も努力していきますのでよろしくお願いいたします。

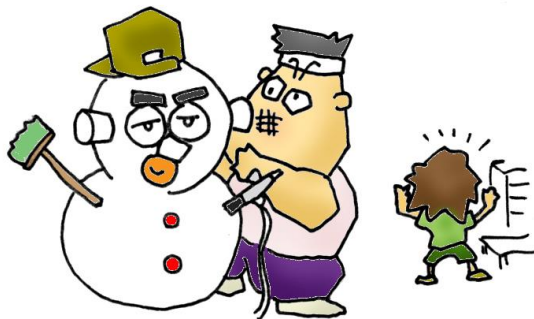


もくじ

はじめに・・・	1
もくじ	2
第1章　まずはいっぷく・・・	3
二冊目・・・これからどうする？	3
第2章　ひと言のコーナー	4
「やらなきゃうまくならない！」	4
第3章　実践のコーナー	5
空き缶にペイント ART！	5
第4章　お勉強のコーナー	7
自分に合った AIR コンプレッサーは？	7
色について・・・	10
読者からの質問コーナー	12
第5章　知ってもソンしないコラム	14
AIRBRUSH メーカーは今・・・	14
弟子の独り言・・・	17
この本と共に勉強していきたい方のための道具選び	18
お楽しみ CD&オマケについて・・・	19
編集後記	20

第1章 まずはいっぱく…

二冊目…これからどうする？



これを読まれている方のほとんどがVol.01の既読者ではないかと思います。

皆さんも私も二冊目に突入してしまったわけですが、皆さんにしてみても私にしてみても、これからが勝負どころなのではないか？と思っています。

読み始める前にタバコを吸うなり、大きく深呼吸するなどして、まずはいっぱいくして下さい！

気持ちを落ち着かせてこの本を読み始めましょう。

私はまずいっぱいくして気を落ち着かせないと仕事にかかれません。

やる気のない時、気が乗らない時はやらないほうがまだと私は思うのですが、皆さんはどうですか？

さて・・・

あなたはなぜこの本を購読しているのですか？ なぜ AIRBRUSH なのですか？

AIRBRUSH で何がしたいのですか？

そんなことを自分なりに少し考えて、この本を読み始めればいいのか？と思います！

私はなぜ AIRBRUSH なのかというと・・・

この本を読んでくれる人がいるから、習いに来て喜んでくれる人がいるから、描いた絵を見て感動してくれる人がいるから、AIRBRUSH が楽しいから、喜びを感じられるから、他にもいろいろとあるからだと思います。

自分がやりたいこと、楽しいことだから続けられる。

せっかくの人生、楽しまないとソンだと思えます。

時には壁を乗り越えないといけないこともあると思いますが、自分が決めた道であれば、必ず乗り越えられるはずだと思います。

私にとって、この二冊目（Vol.02）は多少の壁なのですが、がんばって乗り越えます。

皆さんもこれから AIRBRUSH をやっていくといくつもの壁が出てくると思いますが、私がこの本を通じて応援していきますので、がんばって乗り越えていってください！

第2章 ひと言のコーナー

「やうなきゅうまくなうない!!」

AIR BRUSH は簡単なものと前回の号でズバリ言わせてもらいました。

がしかし、実際に AIRBRUSH ハンドピースを手に持ってやっていかなければ、うまくはならないと思います。

道具をまだ持っていない方もいるかと思いますが、まず道具（ハンドピース）を手に持つこと、実際に使ってみることが、うまくなるための一番の近道だと思います。

ハンドピースをまだ持たない人は早く手に持って、使ってみてください！

空気と塗料とハンドピース、それにあなたが必要と前号で言いました。

この本を読むだけで満足している方はそれでもいいのですが・・・

この本は AIRBRUSH のやり方を教えている本なので、実際に道具を手にしてやるのが基本！

前回は道具選びについて少し触れさせていただきましたが、説明不足のところもたくさんあったりして、道具がまだ手元にない方もたくさんいるはずだと思います。

今回は前回説明不足だった道具のお話もさせてもらいながら、皆さんと一緒に AIRBRUSH のことについて学んでいこうと思います！



第3章 実践のコーナー

空き缶にペイントART!

※この本についているCDの画像      と照らし合わせて勉強して下さい。

＜使用したもの＞

空き缶、水、水中性洗剤、マスキングテープ、今回オマケとして付けたシート

塗料&シンナー（購読者に出している塗料セット）、紙コップ数個

ハンドピース（HP-83C、HP-62B）、AIR コンプレッサー（iwata IS-925）、エアーホース

クリアー（硬化剤と混合して使う2液式タイプ）

■工程1（ベース作り）

まず、空き缶を洗ってきれいな状態にします。（水、中性洗剤を使い、汚れ、油分を取ります。）

※ 油分が残っていると塗料をはじく原因となります。

次にマスキングを缶の上下部分に施します。再度汚れを確認！
缶にAIRBRUSHを使ってベースとなる色をペイントしていきます。
今回は宇宙のイメージで下は黒、上は青といった具合にベース色をペイントしました。



■工程2（星に挑戦！）

オマケのシートを利用します。
十文字にカットされているシートを上から貼って、中心部にほんのすこしだけ白を吹き付けます。

次にシートをはがして、中心部にほどよく白の点をフリーハンドで吹き付けると・・・輝いたような星のようになります。

※今回シートを使いましたが、マスキングテープでも十分可能です。



■工程3（アレンジ）

円のシートの内側外側をうまく利用して地球や惑星を描いてみたり、0.2（HP-62B）のハンドピースも使って宇宙の雰囲気を出していきます！

■工程4（クリアー処理）

クリアーコートでAIRBRUSHで描いた薄い塗膜を保護し、艶を出してピカピカにします！

※ 今回は2液式のクリアーを使用しました。

2液式塗料については次号以降より少しずつ説明していきます。



空き缶ペイント ART、いかがでしょうか？



これをやってみると、いくつかの失敗や新たな発見が必ずあるはずです。

私自身もみなさんにこうやって実践をやって見せることによって、経験を増やし自分の腕を上げているわけなのです。やらないとうまくはありません！

実際にやるのとやらないのでは天地の差があるのではないかと思います。

最初からうまい人は誰一人いないと思いますので、失敗を恐れずにやってみて下さい。

失敗したら、その失敗が勉強になるんです！

これが正しいやり方！と決めつけしないで、あなたのやり方でやってみて下さい！

そうすることによって、あなたは確実にうまくなっていきます！

第4章 お勉強のコーナー

自分に合ったAIRコンプレッサーは？

スプレーで絵を描くこと、塗ること、が AIRBRUSH だと前回説明させてもらいましたが、スプレーするには必ず、圧縮された空気が必要となってきます。

その圧縮空気を作り出すのが AIR コンプレッサーなのですが、いろいろあってどれを使えばいいのかわからないといった方に、今回は私がお勧めできる AIR コンプレッサーを紹介、説明していきます。

一般的には極小のスプレーガン（ハンドピース）を使って絵を描いたりすることが AIRBRUSH。

極小のスプレーガン（ハンドピース）を使うだけなら極小の AIR コンプレッサーがあればいいわけなのですが、大きいキャンパスに絵を描こうとした場合はそれだけ大きなスプレーガンも使用するため、大きな AIR コンプレッサーも必要となってくるのはおわかりいただけるでしょうか？

あなたが何をどんなふうになりたいのかによって、選ぶ AIR コンプレッサーも違ってきます。

大きいコンプレッサーは減圧器を使用することによって、小さいコンプレッサーも兼ねることができのですが、基本的に大きいほど音はうるさくなりますし、置き場所の問題などもでてきます。

AIR コンプレッサーはメーカーや種類が様々なので、知識や経験がない初心者が自分にあったものを選びだすには、誰かからのアドバイスがなければ決められないことと思います。

今回は私の知識や経験をもとにアドバイスをさしあげますので、それを参考にして自分に合った AIR コンプレッサーを選んでいてもらえればと思っています。

今回は AIRBRUSH 用として発売されている代表的な機種、新商品などを紹介します。

（部屋に持ち込めるような大きさ・重さのもの、しかも AIR BRUSH することを前提としているので、車の全塗装が出来るようなものではないことをあらかじめご了承下さい。）

メーカー	機種	定価	備考	備考
OLYMPUS	AD-COM 4004T	57, 500	OLYMPUS の上位機	お勧め品です。
OLYMPUS	AD-COM 4004	49, 000		
OLYMPUS	AD-COM 2002	39, 500		
iwata	IS-875	35, 000		
iwata	IS-925	42, 000	iwata の上位機	お勧め品です。
AIRTEX	APC-001	16, 500		
AIRTEX	APC-002	29, 800		
AIRTEX	APC-003	12, 900		
AIRTEX	APC-004	9, 900		
AIRTEX	APC-005	25, 500		
AIRTEX	APC-006	36, 000		
AIRTEX	APC-007	58, 900	AIRTEX の上位機	お勧め品です。

TOTAL-T が選ぶ AIR コンプレッサーベスト3は・・・

 OLYMPUS 4004T 定価57,500円	OLYMPUS の上位機 多くの AIR BRUSH ペインターがご用達！ AIRBRUSH 界では歴史をもっているコンプレッサーです。 <空気吐出量> 毎分/30～36ℓ <最高圧力> 0.3Mpa <重さ> 7.7 kg ※常時、運転音がします。 ※ホース付。減圧器は別途。 <コメント> 安心度はあるが、音は少々・・・。
 iwata IS-925 定価42,000円	Iwata の上位機（新商品） コンプレッサーの一流メーカーがついに出した新商品！ <空気吐出量> 毎分/22ℓ <最高圧力> 0.35Mpa <重さ> 7.9 kg ※オートスイッチ式 ※減圧器・フィルター・ホース・ガンホルダーが付いています。 <コメント> まずまずの性能と静かさが魅力。
 AIRTEX APC-007 定価58,900円	AIRTEX の上位機（新商品） この静かさはバツグン！！ <空気吐出量> 毎分/19.8ℓ <最高圧力> 0.7Mpa <重さ> 16 kg（キャスター付） ※オートスイッチ式 ※減圧器・フィルター・スパイラルホースが付いています。 <コメント> 静かさ、価格、2リットルのタンク付というのも魅力。 ※現在、人気機種のため入手まで多少の時間がかかるかもしれません。

購入を希望される方は、ホームページ <http://total-t.com> BOOK の TOOL 申し込みフォームよりお申し込み下さい。

特に上の AIR コンプレッサーでないといけないということはありません。

小さな口径のハンドピースだけを usada だけなら、これ以下のものでも構いません。

口径が 1.0 mm 前後までのスプレーガンに対応できるものと考えたところ、こうなりました。

音や場所を気になさらない方は・・・

私も愛用している、ホームセンター等で販売されている
2万円以下のタンク&減圧器付コンプレッサーで十分！

能力も大きく、口径の大きいスプレーガンにも対応！私の
出張現場の必需品となっています。

右の写真は私が使っているものですが、1.5 馬力でタンク
も 25 リットルと前ページで紹介したものとは格段の能
力差があり、しかも低価格！

しかし、音が問題で、アパートやマンション内で使用すれ
ば苦情間違いなしといったところです。



換気の問題・・・

AIRBRUSH をやっている、どうしてもミスト（塗料の霧）が空気中
に舞ってしまいます。マスクをせずにやっていけば鼻の中が塗料
の色で染まってしまうくらいです。

水性の塗料を使えば、臭いも少なく害も少ないのですが、油性の塗料
を使えばシンナーの臭いがとにかくすごいです！害も当然あります！
そのため、換気のことを考えずにはいられなくなってきます。工場内
でやっている私でも、シャッターや窓を開けての換気はよくやります。
室内でやる方は窓の外へ扇風機を向けるなどして、対策をしましょ
う！少しの工夫によってずいぶん違って来るものです。

PS：臭いを避けるために水性塗料を使用した場合、ハンドピースの洗
浄は頻繁且つ丁寧にやって下さい。水性塗料は臭いもほとんどなく良
いのですが、一旦乾くと元には戻らないので要注意です！

色について・・・

塗料の一粒一粒を考える！

前回、私的にズバリこれ！という塗料はない！と私は言いました。

その時々によって塗料を使い分けるのが TOTAL-T 流！

今回は前回の VOL.01 で発表した「私の塗料研究の成果」を元として、もっとわかりやすく説明していこうと思います。



AIR BRUSH 教室に来る生徒に「一粒一粒のことを考えるといいよ！」と私はよく言うのですが、実を言うと私は・・・

仕上がりを GOOD にするために、顕微鏡でないと見られないような色の一粒子一粒のことを頭でイメージしながらペイントしています。

絵に描く時も、ひとつひとつの工程にこだわりや考えをもって描いています。

私は物事を理論立てることが好きなので、ペイントする時も絵を描く時も、理論立てて作業して完成度を高めるようにしています。

実はペイントや絵がうまいわけじゃなく、うまく見せるように努力しているんです。

「一粒一粒を考えるといいよ！」と言うのを口悪くして言い換えれば「細かいところまで考えろ！」と言いたいわけです。



感性や天性がある人は別として、そうでない方は・・・

基本からしっかり学ぶ！考える！ということが大切だと思います。

私は最初のころ、何も考えずにやっていたら失敗ばかりでした！

それも勉強です！（笑）

塗料のものは粉！

塗料が出来るまでの工程を考えてみましょう！

- ①色の原料が粉状にされる
- ②その粉がいろんな液体と混合される
- ③塗料になる

といった具合。

ということは・・・もとなる色の粉の粒子が砂のように粗いと、当然口径の小さなスプレーガンには通りにくい、もしくは通らない、もしくは詰まってしまう。

しかし、砂が通るような大きな口径のスプレーガンを使用すればスプレー塗装が可能となります。

ラメ塗装の時などは、それなりのラメの粒が通る口径のガンを使用すればよいわけです。

基本的に AIR BRUSH は小さなものに繊細に描くことが多いため、使う塗料も繊細でなければいけないということ、粒子が細くなければいけないということなのです。

色の濃さについて・・・

この本に付いていた  CD の画像と照らし合わせて勉強してください。

AIRBRUSH をやり始めた人の、99 パーセントは色を濃くしがちです。

考えてみると、私もやり始めた頃はトロ〜リとした塗料をハンドピースに入れて失敗していました・・・
実際には「こんなに薄くするの！？」とビックリするくらいに超薄い色（シャバシャバな色）を使うのです。

スプレーはノズルの部分から塗料が出る！ということを考えてみて下さい。

そのノズル口径が小さければ小さいほど色は薄くなければいけない！ということに気が付きませんか？

もっとわかりやすく説明すると・・・

ハンバーガーショップなどで売られているシェークには太いストローが付いてきます。

それはなぜか？ 牛乳などであれば細いストローで十分なのですが・・・。

もうわかりましたよね！

結局、細いところに液体を通すにはそれだけシャバくないといけないということなのです。

AIRBRUSH ハンドピースの口径は細いので、そこに塗料が通るようにすればいいということ！

よく溶けるような塗料をすごく薄めて使えば当然通る！ということです。

スプレー（ハンドピース）の構造や塗料のことをよく理解することが大切だと思います。

なにも考えずにやっていたら上手くはなりません。

だから私は「塗料の一粒一粒を考えろ！」「細かいところまで考えろ！」とよく言うのです。

読者からの質問コーナー

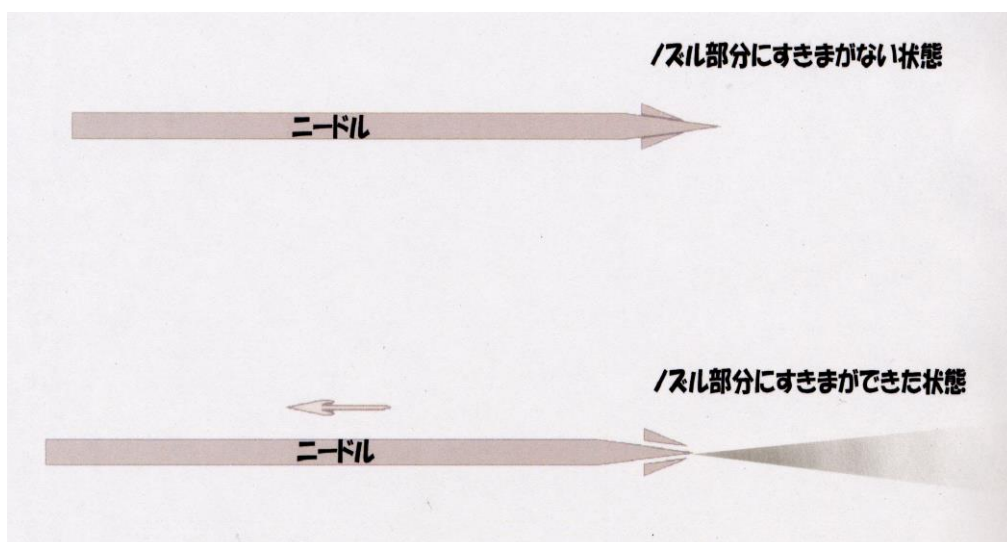
「塗料が飛び散ってしまうのですが…」

読者からこんな質問が寄せられましたのでお答えいたします！

この本に付いていた  CD の画像と照らし合わせて勉強してください。



この症状についてはハンドピースの構造を理解するとなぜそうなるのかがわかるはずですが。
ニードルとノズル部分はガンの命と言って過言ではないくらいに重要な部分なのですが・・・
まず下の図を見て、ちょっと考えてみましょう。



操作をなにもしない場合、ニードルとノズルのすきまもなく、空気も塗料も出ません。

ダブルアクションタイプの通常操作は・・・

- ① まず下へボタンを押し AIR だけが出た状態にします。
- ② 次に押されたボタンを徐々に引いていきます。
- ③ ニードルとノズルの間にすきまが出て、そこから塗料が流れ、AIR と一緒になって噴出されます。

正しい使い方をしていれば、エアーだけの状態から少しずつ塗料が噴出していくのですが・・・
ニードルが引かれた状態からボタンを押すと、先に塗料が流れ出たところへエアーが急に送り込まれ、ツバを吐いたようになります。

また、引いた押しボタンから急に指を離したりすれば、ニードルが急にもどり、すきまに流れ出た塗料がいきなりニードルで押し出され、上と同じくツバを吐いたようになります。

ハンドピースの構造をよく理解することで、失敗の原因をつかめたり、きれいな線を描けるようになったりするわけです。

他にも・・・

ニードルとノズルのすきまにゴミなどが詰まっている状態で使用していると、押しボタンを押ただけでツバを吐いたようになります。

その場合、ノズル部分を掃除すれば直るのですが・・・

その掃除の仕方をみんな知っていないというか、説明書にも載っていないから・・・。

メーカーは「修理に出してください！修理代はいくらかかります！」です。

ちょっとおかげさですが、私はノズルの掃除の仕方を発見するのに１０年かかっちゃいました！

こちらでハンドピースを購入された方には、その掃除の仕方を説明した CD も一緒に付けてあるのでそちらを参考にして下さい。

すでにハンドピースをお持ちの方はその CD だけを注文することも可能です。

CD をご希望の方は TOOL 申し込みフォームよりお申し込み下さい。

CD の内容は HP-62B・HP-83C の両タイプの扱い方、洗いや、練習等を私が実際にやりながら説明しているという内容になっています。（他メーカーのハンドピースにも十分応用できると思います。）

うまくいかない時は、それがなぜなのかよく考えてください！

うまくいかない時は冷静になってよく考える！そうすると答えが少しずつ浮かびあがってくると思います。

考えても答えが出てこないときは、少しいぶくをいれましょう！時には休むことも大切です！

第5章 知ってもソンしないコラム

AIRBRUSHメーカーは今・・・

昨年暮、クリスマスの頃に AIR コンプレッサーやスプレーガンで有名なアネスト岩田株式会社の岩田さんから一通のメールが届きました。

メールの内容は AIRBRUSH の件で・・・という内容。

メールで返事するよりも電話したほうが早いと思い、翌日電話をしました。

その岩田さんって社長？と多少ビビリながらも話を進めていたところ、社長ではなく、AIRBRUSH 部門を任された気さくな岩田さんでした。（その岩田さん、少なからず血はひいているようです。）

余談はそこまでにして本題に入ります。

スプレーメーカーとしてすごく有名なアネスト IWATA は AIRBRUSH に関してあまり力を入れていなかったのが今までの現状でした。

しかし、昨年よりついに動き出したということなのです！

IWATA が動いたということは、ということなのか？と私は考えました・・・。

一番に頭に浮かんだことは、AIRBRUSH の需要が見込まれているということ！あれだけの大メーカーが動いたということは半端じゃありません。

そんな世界の IWATA が AIRBRUSH の専門部門を昨年末に立ち上げたということなのです。

ちなみに通常は “IWATA” なのですが” AIRBRUSH 部門は”iwata”と表していくそうです。

このことは、AIRBRUSH の道具を使っていく皆さんにとっても十分関係してくることはないかと思ったのです。

今までは AIRBRUSH の老舗”OLYMPUS”や模型メーカーの”TAMIYA”（どちらも世界に通用する日本のメーカー）や他メーカーが AIRBRUSH の道具を皆さんに向けて提供していました。

そこへ AIR コンプレッサーで有名、スプレーガンで有名な”iwata”が専門部署を設けてまで加わってくるとしたなら、ますます面白くなってくる！AIRBRUSH が発展する！と思ったのです。



私が AIRBRUSH を教えているというところに”iwata”から関心を持ってもらい、相談があったわけなのですが、

その時、これから AIRBRUSH を始めようとしている皆さんにとってもすごく重要なことではないかと私は考えたのです。

パソコンのことを少し考えてみて下さい・・・

一昔前（数年前）まではパソコンなんて！と思っていた方が多かったのが、今ではどうでしょうか？

誰もがパソコンをやり始め、パソコンがなければ仕事が成り立たないというくらいまでになりました。

Windows が流行りだした頃にパソコンをやり始めた方は今では先生です！まわりのみんなから先生先生と重宝がられ、その先生自身はすごくハッピーな毎日を送っているのでは？と思います。（ハッピーというのは金銭面よりも精神面で）

私の甥っ子は中学生なのですが、私にパソコンを教えてくれている時の姿はすごくハッピーそうです。

（昔は私がその甥っ子にパソコンを教えていたんですけど、抜かされてしまいました！笑）

パソコンをマシン語の時代からやっていた方の中には Windows の波に乗り切れずに敗退していった方も少なくないと思いますが、うまくその波を乗り越えた方や、その波が来た時にうまく乗った方は、良い思いをしているはずだと思います。

日本の“iwata”が AIRBRUSH 界に加わった話が、あなたにとって良い波なのか悪い波なのかは正直わかりません。

しかしその波が来たことは間違いなし！なので、私はそのことを皆さんにお伝えしたいのです。

パソコンの世界では Windows や Mac、メーカーとしても NEC、SONY、FUJITSU、他と様々。

車の世界であれば国内で言うトヨタや日産、他、海外でもベンツやボルボ、他にもたくさんあります。

パソコンや車で例えた後に言うとショボくなるのですが、AIRBRUSH の世界で言うと、オリンパス？タミヤ？イワタ？他？種類は何？というふうになっていくわけです。

IWATA のような大メーカーが動くということは、AIRBRUSH 時代の到来なのでは？と考えたわけです。

その AIRBRUSH 時代の波に皆さんが乗るか乗らないかは皆さんの自由なことなのですが、すでにこの本を購読しているということはすでに AIRBRUSH 時代の波に乗ろうとしている！もしくはもう乗っちゃっている！ということなのです。

うまく乗り切ることが出来ればハッピーな世界が待っている！ということではないでしょうか？

iwata の岩田さんと長電話した翌日、たまたま OLYMPOS の社長と電話する機会があって、また長電話をすることになってしまったのですが、「君、よく知っているねー！」と OLYMPOS の社長から言われた時は正直すごくうれしかったです。

技術的な話に加え、今後のこともしっかり考えているというような話も聞かせてもらい、さすが世界に通用する OLYMPOS！貴族の中にも社長の人柄がうかがえた電話となりました。

その数日後、AIRTEX の竹内さんともまたまた長電話。

その電話の中での主な話は、新コンプレッサー007の話。（海外のあちこちを渡って新コンプレッサーAPC-007 が製造されていて尚且つ人気商品というために、客への納品が多少遅れるかもという話でした。）

AIRTEX の竹内さんの勢いは相当なもの！AIRBRUSH に興味ある客の心をとらえている部分は、私にとってすごく関心があるところで、尊敬しているところでもあります。

ちなみに、AIRTEX の竹内さんとも一通のメールから始まったのがきっかけでした。

上の文を読めば、ますます“AIRBRUSH 時代の到来”というものを感じてきませんか？

その“AIRBRUSH 時代”に皆さんはいるのです！

このことは、この本を読んだ方以外のほとんどが知っていない状態、もしくは気付いていない状態だと思います。

先駆けてやるということは、非常に勇気のいることだと思いますが、それをやるのとやらないのとでは天地の差！が出てくるのでは？と私はいつも思っています。

「たまたまそんな時に出くわしただけだ！」「人は人、自分は自分だ！」という考えの方も大勢いると思います。

しかし私は、せっかくそんな時に出くわしてしまったわけだから、それをうまく利用すればいい！と思うのです。

だから皆さんも、このことをうまく利用してほしいと思っています。

まだまだ、この話を続けたいと思っていたところへ、うちのかみさんに横から「こんな話ばかり長々としていてもしかたないんじゃない？もっとためになることを教えてあげないと！」と言われてしまいました。

残りの行も少なくなってきてどうしようか迷っていたのですが、この際なのでもう1ページ追加してお話を続けさせていただきます。

次ページにつづく

「自分もまったく知らないところから始まったんだ！時間かかったけど、こんなふうによれるんだ！だからこの本の読者にはすごい可能性が秘められているんだ！」と・・・。

長い話になってすみませんでした。

無断複写複製を禁じます。 16

弟子の独り言・・・

こんにちわ。

まさか弟子の独り言が続くとは思いませんでした・・・そのうちほんとに独り言になりかねないっすね。

今回、は少しエアブラシについて書きますよ。技術的なことじゃないっすけど。

僕がここに来てはや三ヶ月が過ぎました。自分で仕上げた作品は意外と少なく彼女の絵だけです。

そのうち上手くなってきたら、ネット上に置いてくれるらしいです（笑）。

まだまだ人に意見するほど上手くないのですが、あまり、関係ないことを書いても誰も読まなそうだし。でも、あらかじめ言っておきますがほんとと下手ですよ、時にはスクールの生徒さんが持って帰る作品の方が上手だったりもします。

そんなやつがTOTALーT 超えるとかいって。

時々、やばいな～なんて・・・

僕がエアブラシで絵をかくにあたってまず、一番重要だと思うことは当たり前ですが、ハンドピースになれることだと思います。

初めて手にしたものを自由に使いこなそうと思う方が無茶です。

たとえば、パソコンのキーボードをはじめから早く打つ人なんていないですよ、多少強引ですかね・・・

では、生まれて初めて鉛筆を持ったとしましょう、それできれいな字がかけますか？

エアブラシも同じです。はじめはみんな出来ないのが当たり前なのです。

だからそこで諦めないで下さい。

次に大切だと思うのは、考える事です。

最初から上手く描けない、俺は下手なんだ、俺にはむいていないんだっていうのは、僕から言わせてもらえば理由になってません。なぜ、上手く描けないのか？なぜ失敗したのか？などを頭の中でよく考えてください。そこで自分なりに答えを出して下さい。そしてその答えをまず試してみる。それでもまだ上手くいかないのであればまた考え、答えを出し、試してみる。そうやって上達するものだと思います。

それを、なぜ上手くかけないのか→才能がないから・・・で終わらせないで下さい。

例をあげれば、芸能人の似顔絵を描いているとします。

全然似ていません→なぜ似ていないのか→肌の色合いが？

肌の色合いが似ても似てません→なぜ似ていないのか→目が変だ、目を直そう→目が上手く描けない

なぜ上手く描けないのか→ハンドピースが上手くあつかえないから・・・と考えながら描くことが上達への確実な階段なのではと、未熟ながら、僕は思います。

あとは、やる気と楽しむことなのですが、この本を買って読んでいるということはやる気は間違いなくあると思うので書きません。

では楽しむことなのですが、これは実際に、感じる事なのであまり書くことでもないのですが

とにかく嫌だな～と思いながら描かないで下さい（笑）。

昔、嫌だと思いながらテスト勉強をしていましたが何時間勉強しても平均 30 点・・・。そのくせ単車や車の名前、ブランド名などは好きだったので、すげ～覚えてた（笑）

結局、嫌だ、嫌だと思いながらやってっても身にならない、ってことですね・・・。

なんか、最終的に読み直したらたいしたことってないかも・・・こんなんでいいのかな？

もっともっと上手くなれば少しは役に立つことかけるのですが・・・すみません。

海前 英俊



この本と共に勉強していきたい方のための道具選び

これから AIRBRUSH を始めようとする購読者のみなさんへ
私がお勧めする道具等を紹介していきます。
私経験をもとに厳選したもので、
安心してご使用できることと思います。
ほしいものがあればご購入ください！
その道具を使いながら、私と一緒に勉強していきましょう！
購入しなくても、いっこうにかまいません。
参考にするだけでもいいと思います。
道具は財布と相談しながら、少しずつ揃えていければいいと思います。
この本と共に勉強していくために、
必要なものを少しずつ紹介していきます。
よけいなものは紹介しませんので、ご安心ください



今回は AIR コンプレッサーの紹介を8P で致しました
ので省略させていただきます。

前回紹介したものなどについてもホームページ
<http://total-t.com> の中で紹介していますので、
購入を希望される方は、BOOK の TOOL 申し込みフォ
ームよりお申し込み下さい。

次回(VOL.03)では新たに開発された iwata 製ハンドピース・その他の紹介を予定しています。

そのほか、ご要望などありましたら、遠慮なくお申し付けください！

ビデオ CD&オマケについて・・・

ビデオ CD&オマケ も付けちゃいました！

“HOW TO AIRBRUSH”のビデオ CD は必需品！

この本にオマケとしてつけたCDがなければ次号の予約がとれないかもしれないと思うほど、このCDの中身は充実していると思います。

AIRBRUSHに関して、こんなにわかりやすく説明しているビデオは自分自身、今まで見たことがありません。もし他にあるのなら教えてほしいくらいです。

そのわかりやすい AIRBRUSH ビデオを自分で作るなんて、夢にも思っていませんでした。

誰も作らないから、私が作ったんです！この CD が数千円で売られていてもおかしくない！と思うくらいに値のあるものと私は確信しています。

自分と言うのもなんですが、これから始める AIRRUSH 初心者にとっては目からウロコのビデオ CD ではないでしょうか？私が AIRBRUSH を始めた頃に、もしこんな CD があったならどんなによかったろうと思います。

CD の見方は・・・

CD をパソコンに入れると、自動的にインターネットエクスプローラが立ち上がるはずですが。

あとはメニューの中身を見るだけです。

うまく見られない場合はCDの中身をエクスプローラ等で表示させ、一つ一つのデータをクリックしてみてください。それでも見られない場合は諦めるか、パソコンのことを知っている方に相談してみてください。私はパソコンを使えますが、深いところまでよく知らないで、最近は甥っ子の中学生によくお世話になっている状態です。マッキントッシュのパソコンでは見られないかもしれませんがその点はご了承下さい。



オマケは・・・

マスキング用として使うと便利なカット済のシート。

今回の“空き缶 ART”でこのシートを使用しました。

皆さんも是非試してみてください！

編集後記

“TOTAL-T が教える HOW TO AIRBRUSH VOL.02” いかがでしたか？

TOTAL-T としては大切な第二号なのですが、うまくできたかどうかは購読者の評価にかかっています。

読者のためにどんどん技術的なことを教えていくべきことなのかもしれませんが、私流の教え方のこだわりというものがあって、こんな内容となりました。私的には、この号が一番重要な要素を教えている号ではないかと思っています。

物足りないという方もいるかとは思いますが、皆さんからの熱いお言葉も支えとなって、がんばることができました。

これからも皆さんからの声を聞きながら、この本に反映させていこうと思っています。

遠慮なく、ご意見ご要望等を [当ホームページ](#)→[BOOK](#)→[BOOK 掲示板](#) にてお伝え下さい。

次回 VOL.03 は・・・

Vol.02 では実践で空き缶ペイントをしましたが、Vol.03 でも新しい実践を皆さんにお見せしつつ、AIRBRUSH についての勉強を皆さんと一緒にしていきたいと思っています。絵の描き方などについても少しずつ教えていきたいと思っていますが、ハンドピースから調子良く塗料がでなければ話にならないので、前回、今回とそのことが出来るように教えたつもりでいます。次回から少しずつですが、絵を描く基本というものにふれていきたいと思っています。絵を描くにも基本は大変重要なこと！あせる人に限って、その基本がぬけていることが多く、うまくいかないとボヤキます。私が経験で学んだ絵の基本というものを、少しずつお話していきますので楽しみにしててください！ ペイントの基本等についても、もちろんふれていきます！

PS：本の予約について・・・

この本は、AIRBRUSH を TOTAL-T と一緒に学ぶ本、考える本、楽しむ本として、毎月月末に発行する手作りの本です。手作りのため、さきがけての予約をとらせていただいております。現在のところ 2003 年 VOL.12 号までの購読予約を受け付けています。

- 次号を予約済みの方は、月末に次号の本が届きますのでよろしくお願いいたします。
- 単月予約をされた方は予約が切れた時点で次号の発送はされませんのでご了承願います。
購読を続けたい場合は再び購読申し込みが必要となります。

[当ホームページ](#)→[BOOK](#)→[購読申込フォーム](#) よりご予約ください。

自分の予約状況を知りたい場合や予約を解除したい場合はメール等でお問い合わせください。

尚、携帯電話からでも当ホームページ (<http://total-t.com>)

にアクセスしていただければ購読予約ができるようになっていきますのでご利用ください。

★AIRBRUSH PAINT & TOTAL-TECH★

TOTAL-T

〒920-2104 石川県石川郡鶴来町月橋町 416-1

TEL 0761-93-9002 FAX 0761-93-5551

URL <http://total-t.com> Mail toshi@total-t.com

最後まで読んでいただきありがとうございました。

TOTAL-T が教える HOW TO AIRBRUSH VOL.02 2003 年 1 月末日（毎月 1 回 月末発行）第二号 発行人 竹島敏也 発行元 TOTAL-T

<http://total-t.com>

無断複写複製を禁じます。 20